

Title	ベンチャー企業のマネジメントに関する考察 - スピード経営環境化における創造型ベンチャー企業の経営 -
Sub Title	
Author	李炳燮(li, Biyonsobu) 奥村昭博
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1996
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1996年度経営学 第1231号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001996-1231

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名

李 炳燮

(株式会社鍾根堂)

主査 奥村 昭博

副査 矢作 恒雄

千本 倅生

所属

奥村 昭博 研究室

ベンチャー企業のマネジメントに関する考察 —スピード経営環境化における創造型ベンチャー企業の経営—

現代の企業を取り巻く環境はネットワーク時代の技術革新や消費者ニーズの多様化などにより、大きなうねりを伴って変動している。

現在は第3次ベンチャーブームといわれるが、第1次ブームの石油ショックによる経済・社会的混乱の中で消滅し、第2次ブームは、多くの企業が過剰投資によって倒産したのである。このように、現在でも、ベンチャー企業の成功はマスコミなどで取り上げられることが多く非常に華やかな印象を与えるが、成長途中で倒産や初期の段階での挫折も非常に多い。それは、企業の立ち上げる時期から成長する段階に様々なリスクに関する経営戦略とマネジメントの問題であろう。

本研究では今回の経営戦略の中心的課題である「アウトソーシング戦略とオープンネットワーク型組織」という観点からベンチャー企業の成長について動的な分析を試みた。

アンケート調査とインタビューに基づいて事例研究をした結果、経営資源を「持たない」ベンチャー企業における競争優位戦略としては

- ニッチ市場で勝負するにはファブレスで開発速度に適應する。
- テーマ別編成の柔軟なアメーバ的組織と弾力なプロジェクトチーム活動。
- スピード経営戦略に従う経営資源のマネジメント・コントロールの合わせ技である。

ということで理論構築して、今後、ベンチャー企業の持続的成長のためには、組織と個人の活力と情報ネットワークとアウトソーシング活用の三つの面の統合で、スピード適應、連結の經濟性の發揮、を目指したネットワーク型組織を行うべきだと提示を行った。